

正しい人間に チャンスを与えよ

(神戸製鋼のヘッドコーチだった)ギャリー・ゴールドの言葉で印象に残ったものがある。

「正しい人間を使わないチームはダメだ」

「正しい人間」とは、「練習を休まず、一所懸命やる」「自分の課題に対し、前向きに日々取り組んでいる」という意味である。

「実力が同じであればもちろんのこと、多少劣っていたとしても、チームに対して有益なコミットメントをしている選手が試合に出場すべきである。それはチームにとっての必要なカルチャーなのだ」

「コーチが自分をしっかり見てくれている」

そう感じられれば、控えの選手はモチベーションが上がるし、レギュラーだって危機感を持つ。(その年のチームには)練習中から集中力をもって取り組む選手たちの姿が目立つことになった。

